

ガスFF型給湯付風呂釜

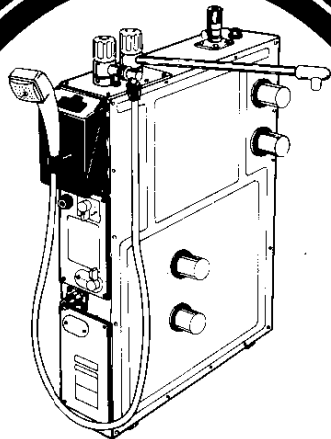
法定型式 SR・FF
SR・FFIIJ



大阪ガス

31-990型, 31-991型, 31-992型, 31-993型

取扱説明書



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検を
よいゴム管を
カッチリと…



使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！



空だきには
ご注意ください



ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを…

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このたびはFF型給湯付風呂釜をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。つねに最良の状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」にしたがって、正しくお使いください。

■保証書はお買いあげの店でお受け取りのうえ、よくお読みいただき、この説明書とともに大切に保存してください。

もくじ

- 特に注意していただきたいこと……………1
- 各部の名称……………5
- 使用方法……………6
- 安全装置が作動したときの処置方法……………10
- 日常の点検・手入れ……………11
- 長期間使用しない場合……………12
- 故障・異常の見分け方と処置方法……………13
- 仕様……………14
- 外形寸法図……………15
- アフターサービス……………17

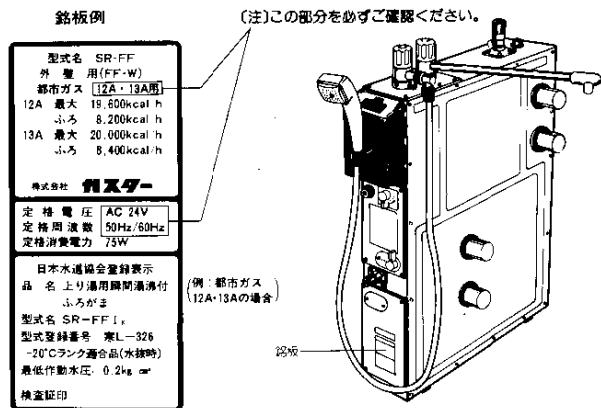
■特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

■使用電源についてのご注意

- 機器の前面に貼付してある銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
- 銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。
- 機器は必ず専用のトランスボックスを介して接続してください。
- トランスボックスは浴室の外に設置し、操作しやすい場所を選んでください。



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

■用途についてのご注意

- 浴室でのシャワー、給湯・ふろの追いだし以外の用途には使用しないでください。

■特に注意していただきたいこと(2)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■市販の補助用具使用についてのご注意

- この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。
(不完全燃焼の原因となります。)
- 市販の湯ざめ防止器などを取り付けて使用しないでください。

■使用場所についてのご注意

- 給排気トップから可燃物は十分離して使用してください。
- 器具は水平なところに置いて使用してください。
(傾斜していると、カマ鳴りの原因になります。)
- 電源トランスは浴室外に設置してください。

■機器の設置について

(詳しくは工事説明書をお読みください。)

- 機器の設置はお求めの販売店に依頼して、安全な位置に正しく設置してください。
- 正しく設置されているか確認してください。

■使用上のご注意

(1)ガス漏れ予防

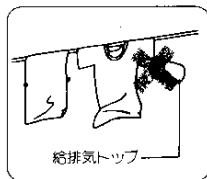
- 使用後は必ず電源トランスの電源を切りガスの元せんを開めてください。特に外出時とおやすみになる前は確認してください。
- ガス配管や器具とガス配管の接続部からガスが漏れていないか時々石けん水などで調べてから使用してください。

特に注意していただきたいこと(3)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

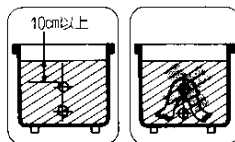
(2) 火災予防

- 機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に給排気トップは洗たく物などでおおわないでください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対しないでください。



(3) 過熱防止

- 追いだきは、浴そうに水が入っていること(上部循環口より10cm以上)を確かめてから行なってください。
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。



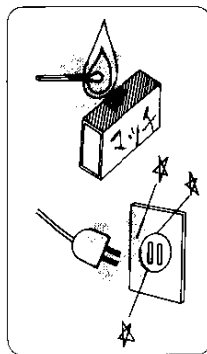
(4) やけどのご注意

使用中および消火直後は、給排気トップが高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

(5) ガス事故防止

ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんをしめ、お求めの販売店が最寄りの当社営業所へご連絡ください。

(注)万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。



(6) 凍結について

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも寒波のため機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

詳しくは9ページの「凍結防止について」をお読みください。

特に注意していただきたいこと(4)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

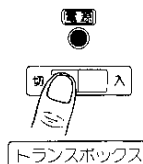
(7) 健浴剤や洗剤についてのご注意

硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器の腐食の原因となりますので使用しないでください。

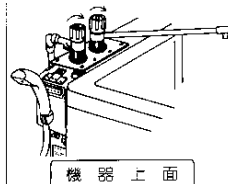
(8) 異常時の処置

万一、異常燃焼をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お求めの販売店か、最寄りの当社営業所へ連絡してください。

(1) トランスボックスのスイッチを切にする。



(2) 給湯せんをしめる。



(3) 給水せん・ガス元せんをしめる。



(9) 機器内に長時間たまった水は飲用または、調理に用いないでください。

(10) 点検板を開けたまま絶対に使用しないでください。

(11) 浴室の排水口つまりについてのご注意

- 排水口はいつもごみなどつまりものがないかどうか気をつけてください。
- 機器に浸水させますと、故障や事故の原因になるだけでなく、機器が早くいたみます。

(12) 水圧の低下等の場合

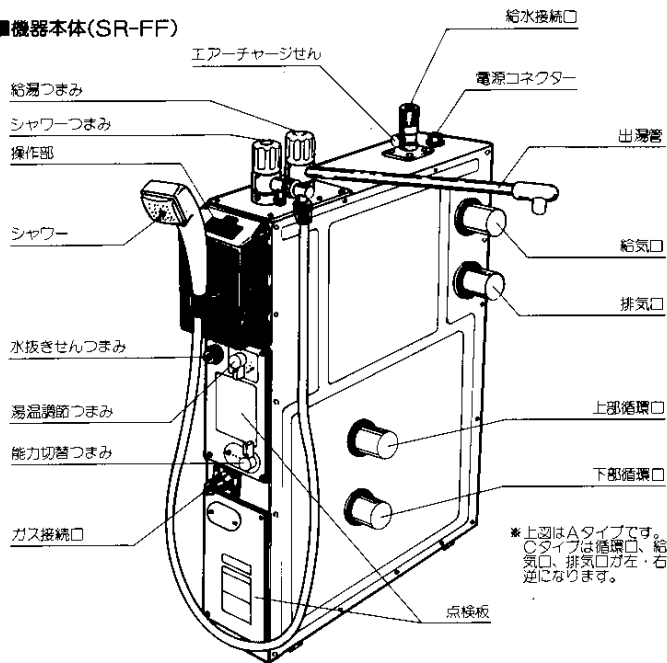
水圧がいちじるしく低下している時や断水の時は、正常な操作をしても湯がでてこなかったり火が消えることがあります。(水圧の回復を待ってから使用してください)

■ 日常の点検・手入れ

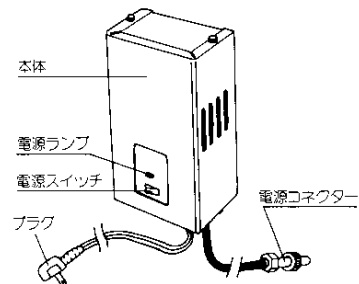
- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。(詳しくは11ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われるときは、お求めの販売店か最寄りの当社営業所へご相談ください。不完全な修理は危険です。

各部の名称

■機器本体(SR-FF)

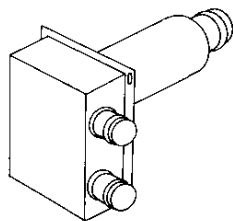


■トランスボックス



■別こん包部品


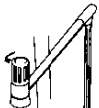

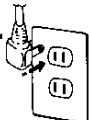
●給排気トッパ

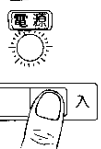
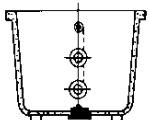



■使用方法

※この機器は給湯・シャワーと追いだきを同時に使用することができます。

■点火前の準備と確認

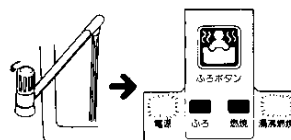
手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
●給水元せんを全開にしてください。	●給湯せんをあげ、水の出ることを確認してからしめてください。	●ガス元せんを全開にしてください。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
			
浴室内	機器上面	浴室内	浴室外

手順 5	手順 6	手順 7
●トランスボックスの電源スイッチをONにする。	●浴そうの排水せんを確認してください。	●機器本体操作部電源ランプの確認(みどり)。
		
トランスボックス	浴そう	機器上面

給湯・シャワーの使い方

■点火

●給湯せんつまみを開きます。
自動的にバーナーに点火し、お湯が出ます。
湯沸燃焼ランプが点灯します。(あか)



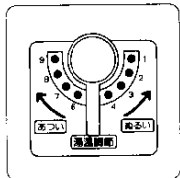
使用方法(2)

(ご注意)

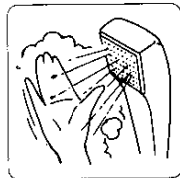
給湯つまみまたはシャワーつまみを開いてから10秒すぎても燃焼ランプが点灯しないときは水を止めて、操作しなおしてください。

■湯温調節

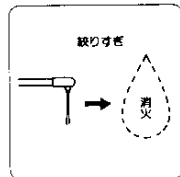
- (1)給湯つまみまたはシャワーつまみを全開にします。
- (2)湯温調節つまみを回して適温を選んでください。



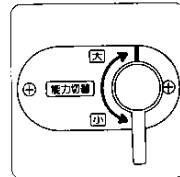
- シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。



- 湯量は約3ℓ/分に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっています。



- 夏期など水温が高いときは能力切替つまみを「夏」に合わせてお使いください。

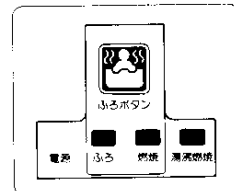


※くり返し給湯つまみを開閉しますと、最初にあつい湯がでることがありますからご注意ください。

使用方法(3)

■消火

- (1)給湯つまみをしめます。
自動的に消火し、湯沸燃焼ランプが消灯します。

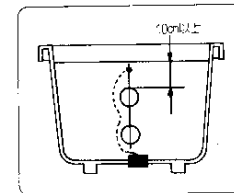


- (2)お出かけやおやすみの際など長時間使用しない場合はトランスボックスの電源スイッチを「切」にしてガス元せんをしめてください。(トランスボックスの電源ランプと操作部電源ランプ消灯)

ふろの使いかた(追いだき)

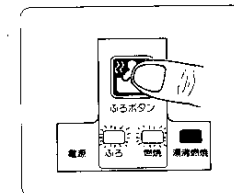
■点火前の準備と確認

- 浴そうの湯(水)が循環口より10cm以上あることを確かめてください。
- 操作部の電源ランプが点灯していることを確かめてください。(みどり)



■点火

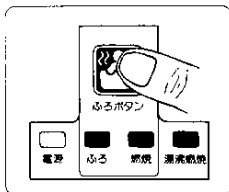
- ふろボタンを押してください。
ふろランプが点灯します。(みどり)
次に燃焼ランプが点灯し追いだきを始めます。(あか)



使用方法(4)

■消火

- 適温になりましたらふるボタンを押してください。消火します。
燃焼ランプ、ふるランプが消灯します。



■凍結防止について

暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。

- 凍結すると機器や配管が破損して、水漏れをおこしたり、機器が異常（空だきなど）をおこす危険性があります。
- 凍結による修理は有料となります。
- 冬季は使用される前に凍結している場合がありますので、出湯管、シャワーから水が出ることを確認してください。
※凍結して水が出ない状態で使用されますと危険な場合があります。
- 水がはるような寒いとき、または寒冷地でご使用の場合は、使い終わっておやすみになるとき、必ず次の順序で水抜きをして、凍結による器具の破損を予防してください。（入居前や長期不在の場合でも同じ操作をしてください。）

- ①トランスボックスの電源スイッチを「切」にする。
- ②ガス、水の元せんとを閉める。
- ③給湯つまみ、シャワーつまみをゆるめて水を出す。
（シャワーホース内の水はシャワーヘッドの位置を低くして抜いてください。）
- ④水抜きせんつまみをゆるめて水を出す。
- ⑤エアチャージせんをゆるめて空気を入れ完全に水を抜く。

- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

使用方法(5)

〈水抜き後の使用方法〉

ゆるめたつまみをすべて元通りしめて、給湯せんから水が出るのを確かめ、点火操作をしてください。

■凍結したときは

- 凍結して水が出ないときは、電源スイッチを「切」にし、給湯せんをあけて水が出るまでまっくしてください。
- 通水しましたら、給水、給湯配管から水がもれていないことを確認してから使用してください。

■停電時の処置

- 停電時は給湯せんをしめて電源スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、点火・給湯の操作をしてください。

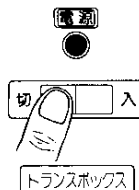
■安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

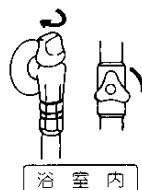
点火操作しても点火しなかったり、ふるバーナーに着火しない、またはご使用中にメインバーナーが消火したときは、次の方法および13ページ「故障異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

また、下記の安全装置が作動した場合には、電源スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんをしめてお求めの販売店が最寄りの当社営業所へ連絡してください。

- (1)電源スイッチを切にする。



- (2)給水元せん・ガスを元せんとをしめる。



- (3)お求めの販売店が最寄りの当社営業所へ連絡する。



安全装置が作動したときの処置方法(2)

■フレームロッド安全装置

- 使用中に万一バーナーの火が消えた場合に、フレームロッド安全装置が作動して自動的にガスが止まります。(燃焼ランプ消灯)
- 消火に気が付いたときはすぐ給湯つまみをしめてください。

■器体過熱防止装置

万一機器が異常な温度に上昇したときガスを止める装置です。
(燃焼ランプが消灯します。)

■日常の点検・手入れ

ふろがまは熱および湿気の条件下で使用しますので、使用開始後、年に一度は点検・手入れを行なってください。

■点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には、必ず給水元せんと、ガス元せんをしめ、電源スイッチを切にして、機器が冷えてから行なってください。
- 機器は絶対に分解しないでください。

■点検

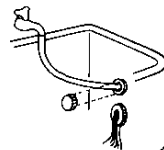
- 機器および配管より水もれ・ガスもれはありませんか。(ガスもれは配管接続部に石けん水などをつけて調べてください)
- 運転中に機器から異常音が無きですか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。(ケーシング、給排気部、操作部等)
- 機器のまわりおよび給排気トップのそばに燃えやすいものはありませんか。

日常の点検・手入れ(2)

■お手入れ

ふろがまを長く、安全にご愛用いただくためには、お手入れが大切です。よごれやごみは早目にとりのぞいて、いつも清潔にお使いください。

- (1)ふろがまの外側(ケーシング)のよごれは、水にぬらしたぞうきんでふいてください。(よごれは水だけで落ちますから、洗剤の使用はなるべくさけてください。)
- (2)循環パイプは、上部循環パイプの中に水道のホースを入れて、強く流し込みますとパイプ内のよごれは、下部循環パイプから出てきます。



(注)操作部の内部には電気部品が入っていますので外側から熱い湯を長時間かけたり、強い力を加えないようにしてください。

■安全点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、安心してより長くご使用いただくために、年一度の安全点検をおすすめします。
お求めの販売店か最寄りの当社営業所へご相談ください。

■長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は必ずガス元せん、給水元せんをしめ、トランスボックスの電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

現象 原因	メーンバーナ							処置方法	参照ページ
	点火 電圧不足 点火 電圧不足 点火 電圧不足	待機中に点火 電圧不足 点火 電圧不足	異常な音を 立てて燃える	燃焼の 音が大きい	燃焼音が 少ない	燃焼音が 多い	燃焼音が 少ない		
ガス元せん開け忘れ	○							ガス元せんを開ける	
ガス元せん開き不十分	○		○					全開にする	
配管内に空気が残っている	○							点火操作を繰り返す	
ガス圧が適当でない	○	○	○	○				*	
使用ガスと銘板が不一致	○	○	○	○				*	1
水元せんの開け忘れ	○							水元せんを開ける	6
水元せんの開き不十分	○				○	○		全電にする	6
水圧が適当でない	○	○			○	○		*	4
水フィルターのつまり	○	○			○	○		水フィルターの掃除をする。	
配管の容量不足	○	○			○			*	
給湯せんの開きが不適当	○				○			給湯せんの開きを調節する。	6
機器が傾いている							○	*	2
上部循環パイプが下り勾配							○	*	2
循環パイプのつまり、ねじれ							○	*	2
浴そうの水が少ない							○	水を加える	8
凍結している	○						○	解凍まで使用中止	9
給排気トップのつまり			○					*	
点火装置電極部の汚れ	○							*	
空気調節が適当でない	○	○						*	
フレイムロッド安全装置が作動	○	○				○		*	11
過熱防止装置が作動	○	○						*	11
ふるごぼ過熱防止装置の故障	○	○						*	
電磁弁の故障	○	○					○	*	
停電している	○	○					○	過電するまで待つ	10
電源プラグがはずれている	○	○						コンセントに差し込む	
配線がまちがっている	○							*	

*印の場合は、ガス元せんを除いて右側の表の通り当社営業所までご連絡ください。

■仕様

種	類	FF型給湯付風呂釜	
型	式	SR-FF、SR-FFⅡJ	
品	名	31-990型、31-991型、31-992型、31-993型	
外形寸法	寸法	高さ	650 (mm)
		幅	110 (mm)
外形寸法	寸法	奥行	600 (mm)
		但し奥行は操作部は含まず	
外形寸法	寸法	給排気トップ外径	φ75 (mm)
		給排気管外径	φ60 (mm)
外装材質	材質	ケーシング：ステンレス鋼板 給排気トップ：ステンレス鋼板	
製品重量	重量	24kg	
ガス接続	接続	□ 13mmゴム管または15A (PT1/2) 強化ガスホース	
給水接続	接続	□ 15A (PF1/2)	
ガス消費量	給湯	能力大	12,000 (kcal/h)
		能力小	7,800 (kcal/h)
	風呂	能力大	8,400 (kcal/h)
		同時使用	20,000 (kcal/h)
給湯能力切替(方式)	方式	能力 大6.5 小3.8号 (可変ガバナ方式)	
水圧	最低作動水圧	0.2kg/cm以下 (水量3ℓ/min以上)	
	使用水圧	0.6kg/cm以上	
電気関係	電源	AC100V 50Hz/60Hz	
	機器入力電圧	AC24V	
	消費電力	75W	
	点火方式	連続点火方式 (バーナーダイレクト点火方式)	
安全装置	ファン感知装置	風圧スイッチ	
	バーナー安全装置	フレイムロッド	
	流水感知装置	流水スイッチ	
	湯沸過熱安全装置	バイメタル	
	空だき過熱安全装置	バイメタル	
	器体過熱防止装置	温度ヒューズ	
過圧逃し弁	ブローバルブ		
排水装置	エアチャージ栓付水抜栓		

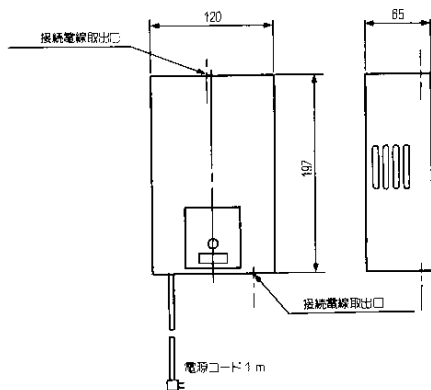
仕様②

型式の呼び	使用ガス	1時間当りのガス消費量 (kcal/h)			出湯能力 (ℓ/min)	ガス接続
		風呂	湯沸(大)	同時使用		
SR-FF SR-FF II J	都市ガス	4A	8,000	11,200	18,500	6.0
		4B				
		4C				
		5A	8,400	12,000	20,000	6.5
		5B				
		5AN	8,000	11,200	18,500	6.0
		5C				
		6A	8,400	12,000	20,000	6.5
		6B				
		7C				
		6C	8,400	12,000	20,000	6.5
		11A				
		12A	8,200	11,800	19,600	6.3
13A	8,400	12,000	20,000	6.5		
LPガス						

13mmコム管または15A(P.T.1/2)強化ガスホース

外形寸法図(1)

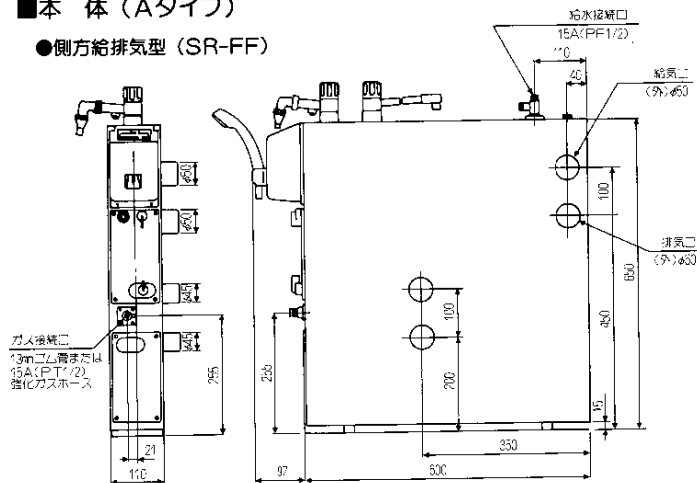
■電源トランス



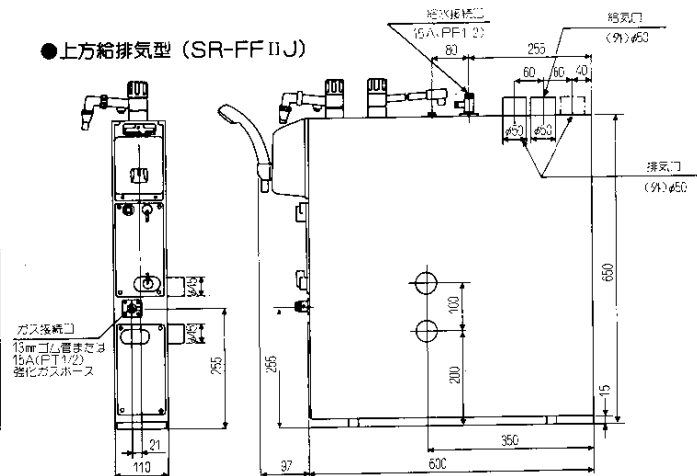
外形寸法図(2)

■本体(Aタイプ)

●側方給排気型 (SR-FF)



●上方給排気型 (SR-FF II J)



■アフターサービス

■サービス(点検・修理)を依頼される前に

- 13ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店が最寄りの当社営業所へご相談ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
(1)品名・型式名(銘板表示のもの)・取付年月日 (4)道順
(2)現象(できるだけ詳しく) (5)訪問ご希望日
(3)住所・氏名・電話番号
- ご使用開始後、年に一度は点検をおすすめいたします。(長期間使用されずにいた場合も同様です。)(有料)

■転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には部品の交換や調整が必要となりますので、お求めの販売店が最寄りの当社営業所へご連絡ください。

■保証について

- この機器には保証書がついています。保証書に記載してあるように機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理にすることをとお約束致します。(詳しくは保証書をごらんください。)
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので、この説明書とともに大切に保管してください。

■補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お求めの販売店が最寄りの当社営業所へご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。当製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。性能部品とはその製品の性能を維持するために必要な部品です。

■連絡先

- 裏表紙の住所一覧表を参照してください。

■製造元


株式会社 **ガスター**

〒242 神奈川県大和市深見台3-4

大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本社・ガスビルサービスセンター	大阪市東区平野町5-1	電話	大阪	06(202)2221	☎541
南支社	大阪市西成区玉出東2-9-41	電話	大阪	06(652)0001	☎557
北支社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	電話	大阪	06(301)1251	☎532
堺支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話	堺	0722(38)1131	☎590
北摂支社	高槻市藤の里町39-6	電話	高槻	0726(71)0361	☎569
阪神支社	西宮市和上町4-11	電話	西宮	0798(26)3101	☎662
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話	河内	0729(62)1131	☎578
京阪支社	枚方市西田宮町16-17	電話	枚方	0720(41)1251	☎573
神戸支社	神戸市中央区相生町5-13-10	電話	神戸	078(576)5231	☎650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話	京都	075(231)3151	☎604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話	奈良	0742(44)1111	☎631
和歌山支社	和歌山市本町1-1-1	電話	和歌山	0734(31)2481	☎640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	電話	姫路	0792(85)2221	☎670
東播支社	加古川市加古川町粟津29-1	電話	加古川	0794(21)1801	☎675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話	豊岡	07962(3)2221	☎668
湖南支社	草津市追分町宇荒堀680-1	電話	草津	0775(62)5311	☎525
彦根支社	彦根市大東町9-41	電話	彦根	0749(22)3131	☎522
長浜(営)	長浜市南呉服町3-4	電話	長浜	07496(2)7171	☎526

その他、当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具コックだけではなく鉄管先の元コックも必ず閉めましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製  マーク入りのものを、そしてコックに付いている赤線のところまで深く差し込み、必ずゴム管止めで締め付けましょう。
- お使いにならない鉄管先の元コックにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社